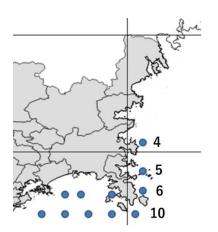
## 令和 4 年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.6)

令和5年3月10日 水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和5年3月9日
- 2 調査地点 右図の4定点(St.4, 5, 6及び10)
- 3 概 要(詳細は下表のとおり)
  - 1) 水 温:表層で8.8~12.4℃の範囲にありました。

## 2) 貝毒原因プランクトン出現数

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(Alexandrium spp. )は確認されませんでした。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン, Dinophysis fortii, D. acuminata ともに確認されませんでした。



## 調査地点図

## 調査結果表(4定点)

St.	日時	日時 水深 (m) 透明度	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数(細胞/L)							
	水深			Alexandrium spp.		D. fortii		D. acuminata		他 Dinophysis属	
	(m)			3月9日	2月23,24日	3月9日	2月23,24日	3月9日	2月23,24日	3月9日	備考
4	3月9日 9:25 (85)	6.0	8.8	0	10	0	0	0	0	0	
5	3月9日 10:16 (31)	7.0	9.4	0	0	0	0	0	0	0	
6	3月9日 10:47 (67)	7.0	9.7	0	0	0	0	0	0	0	
10	3月9日 11:28 (85)	7.0	12.4	0	20	0	0	0	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水